

TAKENAKA
CARPENTRY
TOOLS
MUSEUM



公益財団法人 竹中大工道具館



天平の匠に挑む

古代の知恵 **vs** 現代の技術

Endeavors in Master Craftsmanship in the Tenpyō Era
Ancient Wisdom and Modern Technology

2021.10.16(土) - 12.12(日) ◆ 竹中大工道具館1Fホール

開館時間: 9:30-16:30(入館は16:00まで) ◆ 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

入館料: 一般700円、大高生・65歳以上の方500円、中学生以下無料 ※常設展観覧料を含む

主催: 竹中大工道具館 ◆ 特別協力: 唐招提寺 ◆ 協力: 京都大学生存圏研究所材鑑調査室、奈良県文化財保存事務所、奈良文化財研究所
株式会社竹中工務店、凸版印刷株式会社、TBSテレビ、TBSスパークル

※新型コロナウイルス感染症対策のため、開館時間を変更している可能性があります。

最新情報を竹中大工道具館ウェブサイトにてご確認ください。



a. 唐招提寺金堂 組物解体の様子



b. 唐招提寺金堂 平成修理の構造補強



c. 年輪読み取り器



d. 唐招提寺金堂 扉宝相華彩色復原図



e. 唐招提寺金堂 身舎天井彩色復原模型



f. 法起寺三重塔 二十分の一模型



g. 唐招提寺金堂 実物大組物模型



h. 唐招提寺 創建当初古材(8世紀)

資料所蔵 c: 奈良文化財研究所 / d, e, g, h: 唐招提寺
写真提供 表面, a~e: 奈良県文化財保存事務所

天平の匠に挑む

古代の知恵 vs 現代の技術

2020年12月「伝統建築工匠の技—木造建造物を受け継ぐための伝統技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され、古くから継承してきた17分野の技術が世界に認められました。本展では遺産登録を記念して、保存修理工事において最新の科学技術を駆使して謎の解明に取り組む技術者の知恵に注目します。古代の匠が千年以上もつ建築をどのように造ったのか、また建築を未来へ継承するために現代技術がどのように活かされたのか。本展では、1200年前の天平時代に建てられた国宝・唐招提寺金堂の平成大修理を通して、建築技術・彩色復原・木材などに焦点を当て、古代と現代の技術について対比的に紹介します。

関連イベント

講演会◆天平の匠から、令和の匠へ

日時 2021年10月10日(日) 13:30~15:00(13:00開場)
場所 竹中大工道具館1Fホール
講師 石田太一(唐招提寺 執事長)
定員 70名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
参加費 無料(別途入館料が必要)
申込締切 9月18日(土) 必着

※イベントは状況により中止または変更になることがあります。
最新の情報は「天平の匠に挑む」展公式サイトにてご確認ください。

関連イベント申し込み方法

ウェブサイトまたは往復はがきにて下記事項をご記入の上お申し込みください。

ウェブサイト 公式サイトよりお申し込みください。

https://www.douguan.jp/special_exhibition/tenpyo_kobe

はがき

往信用裏面 ①イベント名 ②参加者氏名(フリガナ)

③郵便番号・住所 ④電話番号 ⑤年齢

返信用表面 宛先に申込者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。裏面は未記入のこと。

申込み先 〒651-0056 神戸市中央区熊内町7-5-1
竹中大工道具館イベント係

※ハガキ1通につき1名様までお申し込みいただけます。

※参加可否の詳細は締切日以降10日程度でご連絡いたします。

※ご記入いただいた情報は厳重に管理し、イベント以外の目的には使用いたしません。



山陽新幹線「新神戸駅」
中央改札口より徒歩約3分

市営地下鉄「新神戸駅」
北出口2より徒歩約3分

シティ・ループ
「12 新神戸駅前(2F)」
下車 徒歩約3分

神戸市バス2系統・18系統
「熊内6丁目」下車 徒歩約2分

公益財団法人 竹中大工道具館

神戸市中央区熊内町7-5-1 TEL 078-242-0216 <https://douguan.jp>

